

農業集落排水施設の最適整備構想は作成していますか？

国は、平成32年度までに全市町村での策定を目標にしています。

農業集落排水施設の更新整備(改築事業)の交付金(農山漁村地域整備交付金)を受けるためには、最適整備構想策定が平成30年度から実施の要件となりました。

(一社)地域環境資源センター(JARUS)では、市町村の状況に応じた策定支援業務を用意しています。

市町村における様々な実情により手が回らないなど、お困りの際はぜひご相談ください。

JARUSの農業集落排水施設の最適整備構想策定支援

当センターでは、『最適整備構想策定支援システム』を活用した支援を実施しています。

直接支援 (正式な見積りは諸条件によって変動します)

当センターが最適整備構想を作成します。

会員、非会員・・・約260万円+旅費等諸経費(1市町村3地区の場合)

リース支援 (正式な見積りは諸条件によって変動します)

当センターからのシステム貸し出しにより、実施主体等で作成します。

会員・・・約70万円(税込)、非会員・・・約92万円(税込)

一般販売

会員・・・120万円/本(税別)、非会員・・・240万円/本(税別)

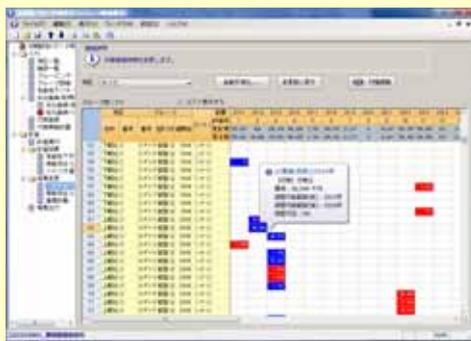


表 3-2 最適整備構想概要

地区名:		年次計画及び年割り額(今後10ヵ年)										(百万円)
改築内容		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	計
管路施設	シナリオ											0.0
	シナリオ											0.0
	シナリオ											0.0
	シナリオ											0.0
中継ポンプ施設	シナリオ											0.0
	シナリオ											0.0
鉄筋コンクリート構造物	シナリオ											0.0
	シナリオ											0.0
	シナリオ											0.0
汚水処理施設	シナリオ											0.0
	シナリオ											0.0
機械・電気設備	シナリオ											0.0
	シナリオ											0.0
計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

最適整備構想(施設監視5年計画) いわゆる「簡易版」の作成

農林水産省では、平成30年度から地方公共団体の実務者が最適整備構想をより「作りやすく」「使いやすく」「分かりやすい」ものとなることを目指し、「簡易版の手引き」をとりまとめ、ストックマネジメントの取組を後押ししています。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/nn/n_nouson/syuhai/180601.html

このことから、JARUSにおいては、今後「簡易版」の策定を直接、実習形式でサポートする研修会の開催を検討しています。

お問い合わせはJARUS 集落排水部 ☎ 03-3432-6284